

ご協賛・ご協力いただいている企業

順位不同



BANKYO



三井物産株式会社

三井物産は、ブラジルで幅広く事業を展開する企業として、在日ブラジル人の日本社会との共生深化に向けた、日本語能力強化を軸とする教育や自律的キャリア形成支援に取り組んでいます。

NPO法人愛伝舎とは2005年より地域コミュニティでの多文化共生に向けた課題解決に共に取り組んでおり、近年は在日ブラジル人学校生徒や保護者を対象とした「三井物産キャリアセミナー」で協働し、高校卒業後の進学や働き方についての情報提供を行い、将来のキャリア選択肢の拡大に向けた取り組みを行っています。これからも少子高齢化や地方創生など日本の社会課題とリンクした地域連携を実施し、多様性のある活躍の場が増やせるように共に取り組みたいと思います。

サステナビリティ経営推進部

株式会社

BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS

BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONSは、「言葉の力で世界の人々の心と心をつなぎ、互いに尊重する平和な世界をつくる」という経営理念のもと、私たちが信じる「ヒトの感性」と「AIテクノロジー」を用いた多言語通訳・翻訳ソリューションを提供しています。

弊社は、愛伝舎の「外国人との多文化共生社会の実現」に向けた活動に賛同しており、行政・企業・団体・地域住民等に対して外国人への理解や、より良い環境整備を整えることに対し、多言語通訳サービスを提供しています。今後も、外国人を地域の構成員として社会を担う人材と捉え、少子高齢化対策や多様性が豊かさにつながるような活力ある社会づくりなど、総合的な支援を愛伝舎と共に取り組んでまいります。

代表取締役社長 吉川健一

税理士法人Mパートナーズ

当事務所はNPO法人愛伝舎の設立以来、税務会計の顧問をさせていただいております。

代表の坂本さんは当初から少子高齢化に伴う日本の人口構造に懸念を抱き、多文化共生社会の重要性を訴え続けながら、様々な活動を展開してきました。特に在日外国人に対しては通訳、翻訳、情報提供、生活支援、教育支援、就労支援に関する事業を行い、常に外国人に寄り添ってきました。私はそんな坂本さんの活動と情熱、行動力に共感し、法人の経営の面からアドバイスやサポートをすることで、これからもお役に立てればと思っています。

日本の技能実習生の制度も見直されつつあります。私たち日本人も外国人との共生社会を実現していくために学びの場や機会を増やしていくことの大切さを感じています。

税理士 松永紀美子

万協製薬株式会社

NPO法人愛伝舎との出会いは、平成23年(2011年)の三重県の「地域想いビジネス」発表会の場でした。

当時リーマンショックで失業した日系人を対象に介護人材の育成に取り組んでいました。その後、2012年、13年にブラジル、ニューヨークに坂本さんと一緒に訪問することになり、楽しい思い出を共有しています。今でこそ人口減少への危機感が持たれていますが、在住外国人の支援が日本の社会にとって重要だと財政基盤が不安定なNPO法人の立場で、長年取り組んできたことは大変な苦労の中で努力されたと思います。日本の社会づくりにおいて、外国人との共生は重要課題の1つであり、これからもこの分野の活動を長く続けて、頑張りたいと思います。企業としても応援していきます。

代表取締役社長 松浦信男

ご寄付のお願い

いただいたご寄付はまんぶく大作戦!!(ひとり親家庭支援)等に使用させていただきます。よろしくお願いいたします。

郵便局からのお振込・お振替

【ゆうちょ銀行】記号:12250 番号:08914971
【口座名義】 特定非営利活動法人愛伝舎

銀行口座からのお振込

【ゆうちょ銀行】二二八店 普通 0891497
【口座名義】 特定非営利活動法人愛伝舎



地域再生大賞で
優秀賞を
いただきました

〒510-0874

三重県四日市市河原田町2448-1

☎ 080-3667-5129 (理事長 坂本)

✉ aiden@hotmail.co.jp

🌐 <https://aidensha.org>



ホームページ

年次報告 2023

NPO法人愛伝舎



2005年(平成17年)に愛伝舎を設立し、間もなく20年になります。これまで活動を支えてくださった皆様、心よりお礼申し上げます。外国人の支援に注力する中で、当初から外国人が増えていく背景の大きな原因が日本の人口減少であると感じていました。しかし当時は、人口減少のことを話題にしても殆ど関心を持たれませんでした。近年人口減少が日本の重要課題と認識されるようになりましたが、外国人との共生、受け入れ環境づくりへの社会的な関心、取り組みは依然として不十分です。

全国的には労働者確保のため技能実習生や特定技能の在留資格を持った人々への関心が高く、議論が活発になっています。

東海地方では1990年の入管法の改正以降、日系人の定住化が進み、来日2世の家族形成期や高齢期など人生すべての世代が地域に暮らしています。長年外国人の受け入れ、共生に取り組んできたこの経験は、日本中すべての地域の少し先を行ったものになっています。

「労働者」としての受け入れにとどまらず、わたしたち社会の「**構成員・仲間**」として共に暮らし、社会を担ってもらおう人たちの社会づくりを目標に、これからも活動を進めていきたいと思っております。そして、NPOのみならず、行政や企業、地域の皆さん、外国人の皆さんと協働して、将来の社会像をしっかりと描き「**仲良く楽しい豊かな社会**」を目指したいと思います。

Our history since 2005

2005~

愛伝舎 設立
電話通訳サービス
公営住宅生活ガイダンス



2008

~2014
三重県多文化共生を考える議員の会
事務局



2006

経産省
ソーシャルビジネス55選 選定



2009

~1014
外国人介護育成事業



~2023
三井物産株式会社社会貢献事業
カエルプロジェクト



2020~

三重県児童相談センター
~2022
トヨタ財団助成事業

2022~

出入国在留管理庁
在留支援課
アウトリーチ支援事業



2013

~2019
ゆめの懸け橋奨学金



2019~

外国人支援多文化共生ネット
結成



2021~

三井物産株式会社
ブラジル人学校奨学金プログラム



三重県教育委員会
外国人生徒キャリア教育



休眠預金等活用事業

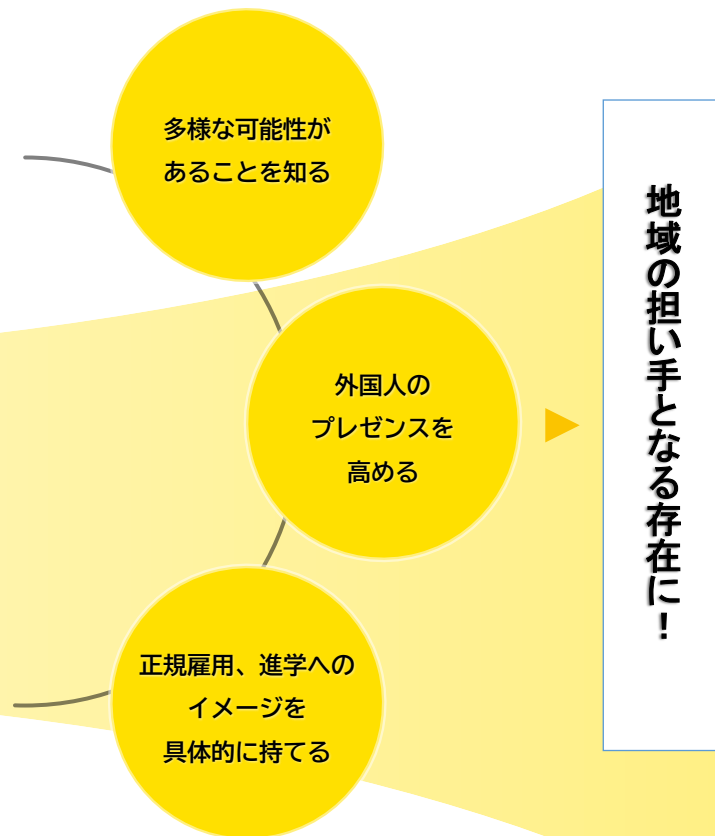


通訳・翻訳 対応言語

ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・タガログ語・ベトナム語

若い世代の育成に向けて

愛伝舎では、三重県教育委員会と三井物産株式会社の事業で、外国ルーツのある高校生を対象にしたキャリア教育に取り組んでいます。多くの人が高校卒業後も日本の社会で暮らしていますが、不安定な派遣就労に就く人が少なくありません。日本語力の不足や、周りの大人の多くが派遣就労に就いていることから、多様な働き方について知識が少なく、仕事観や、長期的な将来像を持っていません。そこで自分の将来を具体的に考えられるように正規就労と非正規就労の違いによる年収の違いや、生涯賃金、社会保障、進学（学校の種類、費用、準備等）の説明をしました。多くの企業が人手不足により人材確保に苦戦していますが、外国にルーツのある若者も地域の大切な人材として正規就労に繋げていきたいと思えます。



三重県教育委員会

外国人生徒キャリアサポート事業

今年度で5回目の開催になりました。飯野高校では4名、みえ夢学園高校では2名の先輩に自らの経験を語り、後輩へエールを送ってもらいました。高校卒業後就職し、正社員として働いている先輩と、大学や専門学校に進学した先輩の、これまでの経験や努力、これからの目標は、生徒の皆さんの心に響いた様子でした。身近なモデル像に触れることで、今後の進路の参考になり、将来へのモチベーションが高まると感じました。様々な分野で活躍する人が増えています。

Voice from Teens 生徒たちの声

これから後悔しないように、がんばって行きたいと思えます！

外国にルーツがある方から直接話を聞けてとても貴重な体験になりました。

卒業生からの言葉は、やっぱり経験者の言葉だから結構響きました。これから資格を中心に頑張ってみたいと思いました。

社会に出たときに役立つことだらけで嬉しかったです。

将来についていろいろ考えさせられました。



三重県立飯野高等学校



三重県立みえ夢学園高等学校

三井物産株式会社

ブラジル人学校奨学金プログラム

今年度は愛知県のブラジル人学校EAS豊橋校、豊田校、碧南校の3校で高校生と保護者向けのキャリアセミナーを開催しました。日本には、現在30校以上のブラジル人学校がありますが、ブラジル人学校に通う生徒たちは、ブラジル人コミュニティの中で暮らしていて、日本についての知識が少なく、卒業後多くの人が非正規雇用で働いています。日本語を習得することで、正規雇用や進学の可能性が高まること、多様な進路があることを説明しています。進学の一つの選択肢としてトヨタ名古屋自動車大学の紹介をし、複数の生徒がオープンキャンパスに参加しました。彼らが生きていく上で役立つ情報を届け、将来の選択肢を広げてほしいと思えます。

Voice from Teens 生徒たちの声

日本で勉強するイメージが変わった

このセミナーは私の将来の視野を広げてくれた

キャリアアップのチャンスもあるかもしれないと思った

自分の選ぶ道を制限しなくて良いことがわかった

もっと日本語を勉強することが、大学入学や夢に近づくことだとわかった



ブラジル人学校EAS豊田校



セミナーの様子

2021年～

2021年度休眠預金資金活用事業

みえ子育て応援パートナーズ



鈴鹿市内の市民団体（NPO法人Shining、（一社）家庭教育研究センターFACE、いさやまワイワイハウス、のびのび子サークル）とコンソーシアムを組んで活動しています。1つの団体だけでなく、複数の団体が協働連携することで、途切れのない支援ができると感じています。日本社会全体で子育て環境の充実に向けての取り組みが進む中、市民団体も組織として連携し、行政に提言、協働できることが重要と考えています。



2023年11月・5月 活動報告会の様子

子どもを見守る取り組み

子どもの出生数が年々減少する中、外国籍の子どもの出生数は増加しています。その背景には、家族帯同できる在留資格の人が増えているからです。また、これまで多かった日系ブラジル人によって、ベトナム等アジア国籍の子どもの出生数が増え、国籍も多様化しています。

2020年～

三重県児童相談センター

愛伝舎では、「外国人家庭への対応強化事業」を受託し、鈴鹿児童相談所と北勢児童相談所にブラジル人とペルー人の職員を配置し、三重県内の外国人家庭の子育て支援に取り組んでいます。言葉の壁だけでなく、保護者に母国とは違う日本の制度を理解してもらうことも重要で、翻訳・通訳のスキルアップの研修も行っています。



やさしい日本語・ポルトガル語・スペイン語で子育て応援ブックを作成

2020～2022年

トヨタ財団助成事業

外国人支援・多文化共生ネットで行った、トヨタ財団助成事業「妊娠から乳幼児育児施策および外国人保護者の受入れ状況の調査研究と啓蒙活動による安心して出産・子育てできる社会づくり」の調査、研究により報告書を作成し、子ども家庭庁や各自治体に提出しました。子育て支援が途切れなく行える組織が国で発足し、外国人家庭の子どもへの支援の充実を、現場からの声と共に求めました。

外多ネットホームページ ▶ <https://gaitanet.wixsite.com/gaitanet>

報告書URL ▶ <https://onl.sc/sC11vKy>

2022年～

出入国在留管理庁 在留支援課

外国人等へのアウトリーチ支援事業

2年目となるこの事業では、外国人への情報提供と、伴走型の相談対応に取り組んでいます。愛伝舎ではこれまで日系人を中心に活動してきましたが、今年度からは更にアジアからの若い人たちのアプローチに取り組んでいます。三重県内の各市にある日本語教室に Outreach、学習者の情報提供の協力を依頼、また支援者のニーズ調査などを行っています。情報の提供としては、入管庁・気象庁・内閣府・文部科学省・厚生労働省・子ども家庭庁などからの情報を多言語でSNSでの配信や、チラシの配布を行っています。12月にはフィリピンで、1月1日には能登半島の地震が発生し、外国人への防災、災害情報の提供は急務であります。日本中いっどこで起きるかわからない災害に対して、情報弱者である外国人の命を守る取り組みは最優先で行っていききたいと思います。



2024年1月31日

外国人との共生を考える三重の協働円卓会議

鈴鹿市で「外国人との共生を考える三重の協働円卓会議」を開催しました。人口減少が加速する中、政治、行政、教育、経済界、市民団体、県民、在住外国人との連携がより重要となっています。外国人との共生に関する課題を解決し、日本の未来をつくるための課題の共有と活発な意見交換を行いました。それにより、次のステージに向けての取り組みが明らかになったと思います。今後の社会像を描いていくには、それぞれが個別に取り組むのではなく、連携して進めていくことが重要です。この会議は、これから協働で進めていく第1歩として開催されました。1つの輪の1部分として、外国人と共生する社会像を描き、構築していく役割を果たしていきたいと思えます。



共催

NPO法人愛伝舎、公益財団法人三重県国際交流財団（MIEF）、三重多文化を考える議員の会、日本国際交流センター（JCIE）

動画のPart1

開会・第1部・第2部



Part2 第3部・閉会

